

平成21年度
学校経営計画
(計画段階)

京都府立峰山高等学校

弥栄分校

平成21年度 京都府立峰山高等学校 弥栄分校 学校経営計画 (計画段階)

学校経営方針(3～5年の中期経営目標)	昨年度の成果と課題	本年度学校経営の重点(短期経営目標)
<p>全教育活動をととして、生徒・教職員がともに成就感と感動を味わえる、明るくさわやかな学校づくりに努める。</p> <p>【地域と連携した弥栄キャンパスの教育】 ① きめ細かな指導による、校種間・専門機関と連携し、地域と一体となった教育の推進</p> <p>【ものづくりを生かした教育と個性を伸ばす教育】 ① 農業の多面性を視野に入れた農業教育の実践 ② 家政科の生活産業分野で活躍できる人材の育成</p> <p>【自立精神の育成】 ① 人を大切にし、同時にモノを大切に作る人材の育成 ② 行事を企画・運営できる人材の育成</p> <p>【特別教育活動の充実】 ① 部活動や生徒会活動を活性化し、集団の一員としての規律・マナーの育成</p>	<p>【成果】 ① 専門学科の特性を生かした地域と連携した活動の推進(奈良丘祭、ボランティア活動など) ② 学校評価による学校改善点の明確化 ③ 特別支援教育の視点も含めた指導の開始 ④ 和(郷土)の文化、環境学習の教材化 ⑤ 社会人講師の活用による魅力ある授業の創造 ⑥ 年2回の生徒授業評価を活用した「わかる授業」の追求 ⑦ 奈良丘通信、学年通信による広報活動の推進 ⑧ 年間漢字テストの改善</p> <p>【課題】 ① 「わかる授業」につながる一層の授業改善と評価方法の研究 ② 1限目の遅刻・欠席に現れる生活面に課題をもつ生徒への継続的・組織的な指導 ③ 社会人として通用するマナー指導(継続的指導) ④ 他者への思いやり(不快な思いをさせない等)の育成 ⑤ 特別活動、農家クラブ活動、部活動の活性化 ⑥ 配慮を要する生徒への課題を明確化した組織的な連携・支援活動</p>	<p>① 「わかる授業」づくりと学習習慣の定着指導 ② 専門学科の特長を生かした地域連携・ボランティア活動の推進 ③ 社会人として通用するマナー指導の推進 ④ 規範意識、他者への思いやりを育てる指導の推進 ⑤ 保護者への連絡徹底と連携した指導の推進 ⑥ 配慮を要する生徒への定期的な指導、きめ細かな指導の推進 ⑦ インターンシップや学校行事活性化の取組の推進</p>

項目名	評価領域 (業務領域)	項目(重点目標)	具体的方策	評価	成果と課題	
0	全体	組織・運営	組織間の連絡・協力体制の確立	教科・学年間の連絡を密に行い連携を強化する。 原留・怠学防止に結びつく出席状況報告を充実する。		
1	教務部	学力の向上	学習姿勢の確立、家庭学習の促進	週末課題を出す。 学ぶ姿勢を確立させ、学習習慣を付ける。 漢字テスト優秀者を増やす。		
2	生徒指導	主体性・協調性・責任感の育成と規範意識の向上	学校行事を計画的に実施する。 生徒会・委員会・部活動の活性化に向け支援する。 生徒心得を遵守させる。			
		生徒・教職員の人権意識の向上	早期に年間計画を作成する。 計画的に人権学習を行なう。			
3	進路指導	希望進路の実現	3年生の希望進路を実現させる。 生徒の進路希望を把握し、適切な情報提供を行う。			
4	保健図書人権	健康・読書指導等	自己理解を進め、豊かな人間性の育成	読書推奨のために、年1回の「読書の時間」を設定する。 自分の健康状態に関心を持たせる。 安定した生活習慣を身につけさせる。 特別支援教育を推進する。		
5	学年指導	生徒指導	自覚と誇りを持ち安全で規律ある高校生活を送る生徒の育成	家庭との連携を密にし、進路目標を明確にする。 クラス全体及び生徒個人の理解に努める。 学級経営を通して生徒の協調性を養う指導を心がける。		
6	学科指導	専門教育の推進	ボランティア活動・校種間交流など、地域との連携	学科の特性をいかしたボランティア活動及び幼稚園児への草花指導の継続 和(郷土)の文化を教材化する。		
7	連携	開かれた学校づくり	行事のスムーズな運営とPTA活動の活性化を目指す	関係分掌と連携をとりながら行事を円滑に進める。 PTA活動への参加を促す。		
8	安全	安全・安心	安全で安心な学習・校内生活環境整備	学習環境の整備、施設設備の安全点検等を行う。		
次年度に向けた改善の方向性						